

令和5年度（2023年度）第2回東海市地域公共交通会議会議録

○会議の名称 令和5年度（2023年度）第2回東海市地域公共交通会議

○開催日時 令和5年（2023年）8月28日（月）

午後1時30分から午後3時まで

○開催場所 東海市役所302会議室（3階）

○出席委員 星川功（会長）、齋藤誠（副会長）、嶋田喜昭（議長）、
金森隆浩、花村元気、天野朝之、小林裕之、藤田和弘、小島浩資、
村瀬謙治、片桐真砂子、大里美栄子、大瀧諒、秋山和子、
中村和彦、坂野正信、久野勲、宮川高彰、桑山忍、
水田昌孝、平岡友幸、石屋義道、大西彰

○欠席委員 湯浅一成、中西規功

○事務局 総務部長、危機管理監、交通防犯課長、同統括主任、同主任、
同主事

○オブザーバー 委託事業者2人

○傍聴者の数 4人

○議題及び審議の概要

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

（会長）

2回目の会議では前回に引き続き、地域公共交通計画の7章以降について、東海市の将来像と4つの基本方針を中心にご協議いただき、それを踏まえて、市民の皆様に対して、様々な意見を聞くパブリックコメントの実施をさせていただきたい。その他、新しい事業のテーマである新たな交通システムの導入検討について、1件提案する事項があるため、皆様には建設的なご意見を頂戴したい。

3. 報告事項

(1) 前回の会議録の確認について

事務局による資料1の説明

(2) 循環バスの利用状況等について

事務局による資料2の説明

(議 長) コロナ過前の6月、7月の循環バスの利用者数はどのくらいか。

(事務局) 3万人ほどである。

(議 長) これからの状況をもう少し見守っていきたい。

4. 協議事項

(1) 東海市地域公共交通計画策定支援業務委託の進捗状況について

事務局による資料3の説明

(委 員) P59についての【指標1】主要公共交通の年間利用者の目標値をどのように算出しているのか

(事務局) 運行経費から運賃収入を差し引き、年間利用者数で割った数値を計上している。

(委 員) 目標指標の現況値の年度が統一されていないのはなぜか。

(事務局) 策定年度が令和6年3月のため、指標によって記載が可能なものは、令和5年度で記載をしている。

(委 員) 【指標4】の待合環境が整備されたバス停数の目標値は、現況値から3箇所のみ増加ということか。

(事務局) 駅前周辺を中心に今後5年間で、3箇所程度の整備を行う予定であり、民間事業者とも連携を図り、目標値達成を目指していく。

(議 長) 駅前の整備だけではなく、歩道上の待合環境の改善についても、今後検討をしていただきたい。

(議 長) P62の【指標5】について、買い物バスとはどのようなものか

(事務局) 社会福祉協議会が実施をしており、主に交通不便地域の方々や高齢者を対象に、市内のスーパーまで送り迎えをする買い物支援のバスである。

(議 長) 今後のスケジュールはどのような予定か

(事務局) 10月頃を目途にパブリックコメントを実施し、4回目の会議でパブリックコメントの結果を踏まえて最終版の計画書とする予定。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(2) 地域公共交通を補完する新たな交通システムの導入検討について

(議 長) デマンド交通の運行形態について、いくつかパターンがあるが、それら

も含めて検討していくのか。

(委 員) そのとおりである。

(委 員) 既存の公共交通機関であるバスやタクシーが補えない部分について、デマンド交通の導入を検討していただきたい。

(委 員) 運行事業者については、地元の業者を活用してもらいたい。

(事務局) 既存のバスやタクシーの強みを活かしつつ、補完できない地域を中心に検討し、市内の公共交通機関とのバランスが崩れないように計画していく。

(委 員) 既存の循環バスの本数が少ないため、デマンド交通の実証実験については期待を持ちたい。

(委 員) 地域の移動ニーズ等を反映できるのか

(事務局) 昨年実施した市民3500人のアンケートやOD調査等から、地域ごとの移動ニーズの傾向を把握できているため、それらも踏まえてエリアの設定等を検討していく。

(委 員) おおすが整形外科は駅から遠く、高齢者の利用も多いため、デマンド交通を導入する上で、その周辺を目的地として取り入れてみてはどうか。

(事務局) デマンド交通だけではなく、バスのルート再編等、他の公共交通機関でのカバーも含めて、今後協議・検討していく。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

5. 閉会のことば